

震災ボランティア派遣 FAX通信⑬

2011年7月18日



週末ボランティアもOK!

各組合・地域労連

御中



青森県労働組合総連合

青森市大野字若宮165-19

TEL 017-762-6234、FAX 017-729-2186

メール ao110@kenrouren.jp

【発信者】事務局長 有馬美恵

第4チーム・柿崎さんの報告～3日目最終日

最終日の三日目、その日の作業は海岸の瓦礫撤去です。現地に着き作業開始から5分くらいで地震が発生しました。揺れ自体は震度3くらいだったと思いますが、しばらくすると津波注意報が出たので全員高台に避難するように指示が出ました。指示に従い作業を中止し避難しました。避難の途中には、津波で破壊された民家や倒壊寸前の民家も残っていて、この地域だけでも60名近くの死者、行方不明者が出たそうです。お昼近くになり津波注意報も解除になり、ボランティアセンターからも作業を中止して帰ってくるように指示が出たので、戻ることになりました。センターに戻り作業の報告をし、最終日はそのまま終了となりました。結果的には三日目の作業はほとんど出来ませんでした。センターの判断で安全面を考慮して午後の作業はすべて中止になったようです。

今回の活動で感じたことは、まずボランティアに参加されている方々との何ともいえない一体感というか、同じ作業をすることによって目に見えない心の繋がりが生まれるということです。うまく説明できないのですが、昔からの知り合いと偶然再会したような感じです。また、若い方の参加が多く非常にしっかりとした考えを持っているなど感じました。地元の人でも気持ちが前向きな方が多く、穏やかな方が多いと感じました。

ボランティア活動は必ずしなければならないものではないと思いますし、時間とお金とある程度のリスクを取る覚悟も必要ですが、かりに今興味がある方がいらしたら、思い切って各団体に相談してみてもいかがでしょうか。一日だけの活動でも充分だと思います。自分に出来ることを無理のない範囲で行うことでよいと思います。小さな活動の積み重ねによっていつの間にか大きなことが成し遂げられるのではないのでしょうか。そしてゆっくりではあるが、確実に復興していく。その手伝いに少しでも自分の時間を使ってみる。それは意外と気持ちの良いものだと思います。

